

令和7年度 女性が輝く東京農業特別支援事業

「輝く東京農業女子フォーラム」レポート

輝く東京農業女子フォーラムが2026年2月10日(火)にたましんRISURUホールで開催され、オンライン参加者を含む112名が参加しました。テーマは「世代をつなぐ、東京農業の未来をともにつくる！誰もが活躍できる東京農業へ」。事業承継がテーマの講演や、東京農産物の流通や販路の可能性についてのパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場から意見が交わされました。終了後の交流会では講師も交えた情報交換があり、参加者同士の交流を深める機会となりました。



テーマ	「世代をつなぐ、東京農業の未来をともにつくる！誰もが活躍できる東京農業へ」	
概要	東京農業の持続的発展に向け、事業承継のあり方について考えるとともに、東京農産物の魅力と価値を高めるために、生産者・販路開拓ナビゲーター・小売・シェフの視点を通じて、販路拡大のための課題を考える。	
講師	第1部講師：八代目伊東仁太郎 伊東悠太郎 第2部講師：FARMER'S もぐもぐランド 株式会社FOOD FIELD CREATIVE 小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 株式会社ライフコーポレーション 金子和夫事務所	:代表 小山律子 (生産者) :代表取締役社長 石川史子 (販路開拓ナビゲーター) :料理長 石川篤志 (シェフ) :首都圏農産部 成道仁志 (小売事業者) :金子和夫 (MC)



■ 第1部 講演 今から始める事業承継

まず、事業承継が求められる背景や、承継に取り組むメリットについて、多様なデータを交えた解説が行われました。事業承継の基本的な選択肢としては「継ぐ・売る・畳む」の3つがあり、将来の選択肢を広げるためにも、それぞれの方向性を早期から検討しておく重要性が強調されました。また、家族や関係者との対話を重ねることで考えが整理され、言語化が進む点にも触れられ、「対話型」で事業承継を進める意義が示されました。こうした対話を継続しながら承継を進めるうえでは、ゴールと期限をセットで設定すること や、定期的に話し合いを設けること が円滑な承継につながるの考えも提示されました。参加者は講師の説明に熱心に耳を傾け、事業承継を早い段階から検討し、関係者と対話を重ねながら計画的に進める重要性への理解を深めていました。

■ 第2部 パネルディスカッション 東京農産物の価値を高めるための流通モデルの可能性





生産者、シェフ、小売事業者、販路開拓ナビゲーターが登壇し、東京農産物の販路拡大や価値向上をテーマに意見交換が行われました。生産者からは、規格外となるB品にも価値を見だし、地域の農家と連携しながら流通・販売につなげる取組が紹介されました。シェフからは、料理の幅を広げるための珍しい野菜へのニーズや、食材としての鮮度確保の重要性が指摘されました。一方、小売事業者からは、売り場で継続的に取り扱うためには、一定の品目を安定的に供給できる体制が不可欠であり、農家同士の連携した生産・出荷の仕組みづくりが重要との意見が示されました。これらのニーズを踏まえ、販路開拓ナビゲーターからは、生産者の規模や特徴に合った販路を結びつけること、そして販売先との関係構築を進めながら流通の仕組みを整える必要性が強調されました。総じて、東京農産物の価値向上には、生産者と流通・販売側が連携し、販路と流通の仕組みづくりを一体的に進めていくことの重要性が共有されました。



■ 終了後の交流会

参加者同士でテーブルを囲み、交流会がスタートしました。会場では、講演中には聞けなかった質問を講師に直接投げかける姿や、日頃の農業活動で抱える悩みを相談する様子が見られました。また、これまで地域ごとの講座では出会う機会が少なかった他地域の参加者が積極的に交流し、それぞれの取組や工夫について語り合うなど、会場のあちこちで活発な会話が生まれていました。交流会の最後には、参加者を代表して、目黒区「根岸ぶどう園」の根岸優子氏が今年度を振り返り、「本日もですが、この講座は頑張る女性農業者の背中をそっと押してくれました。来年度以降も楽しみです。」とコメント。その言葉に多くの参加者が大きくうなずき、会場は温かな雰囲気包まれる中で、今年度の講座は締めくくられました。



参加者の声① 「今回、事業承継のお話がとても勉強になりました。賞味期限は2週間とのことで、2週間以内にアクションを起こせるようになります。」  40代	参加者の声② 「事業承継をする側ですが、3世代先まで考えることは考えてもいなかったです。よく話し合い、より良い解決策を見つけようと思います。」  50代	参加者の声③ 「現在の経営は直売の比率が多く、他の販路がないことが漠然と不安でしたが、販路を先に作るということを学べ、とてもためになりました。」  30代	参加者の声④ 「つい諦めがちだが、やりようでどうにでもなると思いました。自分の作物に自信を持っていきたい。参加するといつも勉強になりますが、今回は特に心に響きました。」  60代
---	--	--	---

参加者からは、講座を受けての前向きな感想や、講座を通じた交流の広がりを実感できる意見が寄せられました。実践的な内容と、すぐに現場で活かせる学びが多い講座を開催しておりますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。



輝く東京農業女子

輝く東京農業女子 フォーラム

世代をつなぐ、 東京農業の未来を ともにつくる!

だれもが活躍できる
東京農業へ

参加
無料

2026年

2/10 火

13:30~16:40 (16:45~17:45交流会)

たましんRISURUホール 5F 第1会議室

〒190-0022
東京都立川市錦町3丁目3-20

参加対象

- 都内の農業者
- 農業に関心のある方

男性も
参加できます

定員

現地
定員 **90名**

オンラインでも
参加できます

託児サービス
あり

事前申し込み制

講師紹介

第1部

講演「今から始める事業承継」

東京農業の持続的発展に向け、事業承継のあり方について考えます。



第2部

パネルディスカッション

「東京農産物の価値を高めるための流通モデルの可能性」

東京農産物の魅力と価値を高めるために、生産者・流通・外食産業・仲卸・シェフの視点を通じて、販路拡大のための課題を検討します。

第1部講師:伊東 悠太郎

お申し込み・詳細は裏面をご覧ください。

講師紹介

第1部

講演「今から始める事業承継」



いとう ゆうたろう
伊東 悠太郎 八代目伊東仁太郎 代表

富山県の兼業農家の長男として生まれ、JA全農に入会。担い手対策、農業者団体との連携、全農営農管理システム「Z-GIS」の開発、事業承継支援等に携わる。親の病気を機に退職し、水稻種子県間流通量日本一で発祥の地でもある地元富山で専業農家として水稻種子を栽培。その傍らで、事業承継支援をライフワークとして活動を行っている。特に近年は、実践講座や個別支援など、実際の話し合いやその支援にシフトしている。著書に「今日からはじめる 農家の事業承継」「書き込み式でよくわかる 農家の事業承継ノート」(いずれも家の光協会、竹本彰吾共著)。



第2部

パネルディスカッション

「東京農産物の価値を高めるための流通モデルの可能性」



かね こ かずお
金子 和夫

金子和夫事務所

ファッション業界を経て、日本総合研究所で地域活性化に従事、JAPANブランドや地域ブランドの全国展開を支援。農水省の女性農業次世代リーダー塾の基調講師を務めた。



こやま りつこ
小山 律子

FARMER'Sもぐもぐランド 代表

八王子市農業者。「FARMER'Sもぐもぐランド」代表。切り花生産と冷凍スープやドライ野菜などの加工販売を行う他、自ら開発した流通マッチングシステム「とれたて便kiki」の運営に取り組む。



いしかわ ふみこ
石川 史子

株式会社FOOD FIELD CREATIVE 代表取締役社長

東京都農林水産振興財団チャレンジ農業支援センター販路開拓ナビゲータとして、都心への農畜産物の販路マッチングを支援している。



いしかわ あつし
石川 篤志

小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 料理長

小田急ホテルセンチュリーサザンタワー料理長。国内外で研鑽を積み、野菜ソムリエの資格を活かし、生産者と対話しながら東京産食材の魅力を発信。



かぶしきがいしゃ
株式会社

ライフコーポレーション

1961年に大阪府豊中市に1号店をオープンし、現在は首都圏・近畿圏を中心に316店舗展開。お手頃価格や高品質、健康志向などのPBを展開し、環境配慮や地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

フォーラム終了後、17:45まで交流会を開催いたします。

ぜひこの機会に皆様との交流を深めてみてはいかがでしょうか。

登壇者も参加します

自由参加

途中退出可能

アクセス

たましんRISURUホール 5階 第1会議室 〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目3-20



電車でお越しの方

- JR中央線立川駅「南口」より、徒歩約13分
- JR南武線西国立駅より、徒歩約7分
- 多摩モノレール立川南駅より、立川南通りを直進、徒歩約12分

※専用の駐車場はございません。お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



申込はこちら

参加ご希望の方は左記のQRコードまたは下記のURLよりお申し込みください。

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/260210/nougyou/>

申込締切 2026年2月5日(木)17:00まで

※託児サービス利用の場合は2026年2月2日(月)17:00まで
※オンライン申込をご利用いただけない場合は、各普及センターにお電話にてお申し込みください。

お問い合わせ

輝く東京農業女子講座運営事務局 mail : info@agri-tokyog.com

- 区部農業改良普及センター (03-3678-5905)
- 南多摩農業改良普及センター(042-674-5971)
- 西多摩農業改良普及センター(0428-31-2374)
- 北多摩農業改良普及センター(042-391-1100)